

稲沢市立三宅小学校で防災講座を行いました

令和8年9月30日（水）、稲沢市立三宅小学校で5年生18名に防災講座を行いました。学校の近くには三宅川や日光川が流れています。この学校での講座は今年で3年目です。

講座では、稲沢市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害、今年発生した水害について学習しました。講座中にはメモを取る様子が見受けられたほか、浸水疑似体験映像の視聴後には「水害を体験したことはないけど怖いと思った」「高い方に逃げた方がいいと思った」などの感想がありました。

また、伊勢湾台風A I 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では積極的に手を挙げ、「死者は何人ですか」「避難するときに大事なことを教えてください」などと質問をし、伊勢湾台風や避難について理解を深めました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

